

報告事項ケ

平成25年度鳥取県学校給食優良学校等表彰について

平成25年度鳥取県学校給食優良学校等表彰について、別紙のとおり報告
します。

平成26年2月4日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

平成25年度鳥取県学校給食優良学校等表彰について

スポーツ健康教育課

1 表彰の趣旨

学校給食の普及とその充実を図るため、学校給食実施上優れた成果をあげた学校、学校給食調理場及び学校給食関係団体を学校給食優良学校等として、県教育委員会教育長が表彰。

2 被表彰者と功績概要

○南部町立会見小学校

(代表 森谷哲郎)

- ・ 学校給食及び食育を校内分掌に位置付け、「食に関する指導全体計画」を策定し、学校教育全体で組織的、計画的な取組を実施している。
- ・ 平成17年度からコミュニティ・スクールの指定を受け、大豆や野菜づくり、米づくり、つるし柿づくりなど地域の暮らしに立脚した生産体験学習に取り組み、子どもたちの「食への感謝の心」の育成に努めている。
- ・ P T A研修部や母親委員会による食育絵本の読み聞かせや家庭と連携した「おにぎり給食の日」の実践により、家庭における食育の推進にも意を注いでいる。
- ・ 食物アレルギー対応への意識が高く、毎年、年度当初に全教職員による研修会を開催して、食物アレルギーに関する理解を深め、緊急時への対応にも備えている。

○国分寺たまねぎ生産組合

(代表 河村久富)

- ・ 平成17年度から学校給食用たまねぎの計画栽培に取り組み、鳥取地域の学校給食センターへ、地元のたまねぎを安定的に提供し、鳥取市における学校給食の地産地消率向上に貢献している。
- ・ 生産者は、「成長期の子どもたちが食する」ことを念頭に置き、愛情を注ぎながらたまねぎを栽培することをモットーとしている。
- ・ 毎年、収穫期には、栄養教諭等と圃場現地視察や収穫体験を開催し、相互の理解を深める機会として、連携しながら食材の提供に努めている。
- ・ 子どもたちとのたまねぎ収穫体験や学校給食の試食会に参加することにより、食文化の継承を図ること、地域や自然の恵み、農業、勤労の大切さなどを理解することを子どもたちに伝え、食育の推進に貢献している。

3 表彰式

- ・ 日 時 平成26年1月30日(木) 午前10時30分から
- ・ 会 場 鳥取県教育委員会 第1教育会議室